

- 1 第62回中小企業団体全国大会、
盛大に開催される！ …… 1
- 2 知事懇談会への要望内容等を協議！ …… 3
～平成22年度第4回理事会を開催～
平成22年度 新春経営トップセミナーのご案内
- 3 平成22年度
中小企業労働事情実態調査結果 (抜粋) …… 4

- 景況レポート10月分 …… 7
- 話題の広場
中央会事業より …… 8
アラカルト …… 9
支援団体活動レポート …… 10
組合ティールーム …… 10

TOPICS 1

第62回中小企業団体全国大会、 盛大に開催される！



11月18日(木)、奈良市の「なら100年会館」において、第62回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会、奈良県中小企業団体中央会)が開催されました。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、『新たな出発 未来を創る 団結の力』をキャッチフレーズに、中小企業が直面する諸問題について議論し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の拡充強化を訴え、組合組織を基盤とした中小企業の安定的発展と豊かな社会を実現することを目的としています。

62回目を迎えた今回の大会には、政府、中央関係機関、各政党代表などの来賓と本県から参加した36名を合わせ、全国から約2,000名の中小企業団体の代表者らが参加し、14項目について決議しました。

また、表彰式では、本県からは大館市大町商店街振興組合が優良組合表彰を、仙花久彌氏(秋田県自動車車体整備協同組合理事長)が組合功労者表彰を受賞しました。

第62回全国大会受賞 おめでとうございます

○優良組合

大館市大町商店街
振興組合
(横井伸一理事長)

○組合功労者

仙花久彌氏
(秋田県自動車車体
整備協同組合)



横井 伸一氏



仙花 久彌氏

大会に先立ち、全国中小企業団体中央会鶴田欣也会長は、「中小企業が新たな発展を遂げていくためには、個々の事業者では解決できない諸問題に対して、今回、キャッチフレーズとして掲げた『新たな出発 未来を創る団結の力!』にあるように、組合をはじめとする中小企業連携組織のもと、相互の団結を一層深め、わが国中小企業の振興発展のために邁進することが求められている。」と挨拶しました。



挨拶する全国中央会 鶴田会長

開会挨拶に引き続き、来賓が紹介された後、開催地である奈良県の荒井正吾知事が挨拶したほか、松下忠洋経済産業副大臣が祝辞を述べました。

この後、決議案に関する意見発表が行われ、右記のとおり採決されるとともに、奈良県中小企業団体中央会の清水幹夫副会長が、決議事項の早急な実現を求め高らかに「大会宣言」し、満場の拍手の下で採択されました。

なお、来年の第63回中小企業団体全国大会は、愛知県において開催されることとなっています。

【決議】

I デフレ不況の克服、連携組織対策等中小企業対策の強化

- 1 円高、デフレ脱却のための経済対策の実行
- 2 中小企業憲章を具体化する中小企業対策の拡充
- 3 組合活動への支援の拡充、中央会の支援体制の強化

II 中小企業の生産性の向上

II-1 労働

- 1 中小企業に配慮した雇用対策の推進
- 2 社会保障制度等の見直し
- 3 中小企業に配慮した労働・教育政策の推進

II-2 情報

- 1 中小企業のIT化支援の強化・拡充

II-3 商業

- 1 商店街及び中小小売商業の活性化支援の拡充
- 2 中小流通業・サービス業振興対策の強化

II-4 税制

- 1 中小企業に新たな成長を促す税制支援の強化

III 中小企業の経営の安定化

III-1 金融

- 1 資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充

III-2 公正な競争環境の整備

- 1 優越的地位の濫用・不当廉売等への積極的対処
- 2 下請法の整備・機能強化と取引適正化の徹底
- 3 中小企業と官公需適格組合の受注機会の増大



本県からの参加者の皆さん（なら100年会館前にて）



11月9日(火)、平成22年度第4回理事会を秋田市のホテルメトロポリタン秋田において開催しました。

開催にあたり塩田会長は、「秋田県のものづくりや地域経済をどうするかは大きな問題であり、県内の企業が元気にならなければ地域も元気にならない。各中小企業のネットワークを築くことが中央会の責務であり、これからは六次産業化も視野に入れ、地域におけるコミュニケーションと連携の強化に一層取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

引き続き、議案の審議が行われ、会員の加入・脱退が承認されたほか、上半期の事業遂行状況や

平成23年度予算の要望、また、12月1日(水)に開催予定の知事懇談会の内容等について報告及び協議が行われました。

各役員からは、公共事業における伝統的工芸品の使用の要望や、県内における食品の原料加工設備の必要性など、多くの意見が述べられました。

知事懇談会の内容については、来月号でお知らせします。



平成22年度 新春経営トップセミナーのご案内

本会主催の平成22年度新春経営トップセミナーを次の日時に開催致します。組合の皆様多数のご参加をお待ちしております。

○テーマ 「地方はどう生き延びるか？」

○講師 法政大学法学部教授
ジャーナリスト TVコメンテーター

萩谷 順 (はぎたに じゅん) 氏

○日時 平成23年1月21日(金)

セミナー：午後3時～

賀詞交歓会：午後5時～

○場所 ホテルメトロポリタン秋田 3F「ジュエル」

○講師プロフィール

東京大学卒業後、朝日新聞記者として、国内政治担当を経てドイツのメディアで記者、キャスターを経験。1988年からは朝日新聞海外特派員として、様々な国へ駐在し、国際報道を行ってきた。現在は、法政大学教授として教鞭をとるとともに、テレビ朝日のスーパーJチャンネル「ビートたけしのTVタックル」のコメンテーターとしても活躍中。



【お問い合わせ・お申し込み】

秋田県中小企業団体中央会・調査広報課 TEL 018-863-8701 FAX 018-865-1009

12月27日(月)までに、電話又はFAXでお申し込みください。なお、賀詞交歓会にご参加の場合は、会費6,000円となっております。

本会では、毎年7月1日を調査時点として全国統一様式により中小企業の労働事情に関する実態調査を実施しております。

今回の調査では、県内800事業所(製造業450事業所、非製造業350事業所)を対象とし、453事業所から回答(回答率56.6%)がありました。

今月号ではその抜粋版として、主要項目をピックアップして掲載致しますが、詳細な調査結果については、本会のホームページ(PDF形式にて掲載)をご覧ください。

1 調査時点	平成22年7月1日
2 調査対象事業所	800事業所
3 回答事業所	453事業所
4 回答率	56.6%

1 経営状況

(1) 現在の経営状況

県内の中小企業の経営状況をみると、「悪い」が50.1%となったものの、昨年の調査との比較では25.8ポイントも大幅に減少、「変わらない」が18.8ポイント大幅に増加、「良い」は6.9ポイント増加しており、昨年よりも厳しさが緩んだ結果となった。

業種別に見ると、「機械器具」の50.0%が1年前と比べて良いと回答している。(図-1)

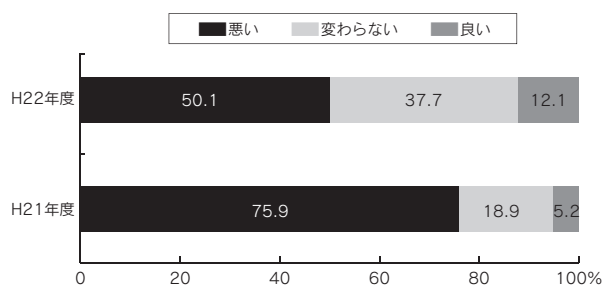


図-1 経営状況

(2) 経営上のあい路

経営上のあい路を3項目以内で選択してもらった結果、「販売不振・受注の減少」が66.4%と最も多く13年連続で1位となっている。次いで、「同業他社との競争激化」(44.1%)、「製品価格(販売価格)の下落」(26.1%)と続いており、「同業他社との競争激化」は昨年の35.0%から9.1ポイント増加した。

また全国の状況も、上位3位は同じ項目となっている。(図-2)

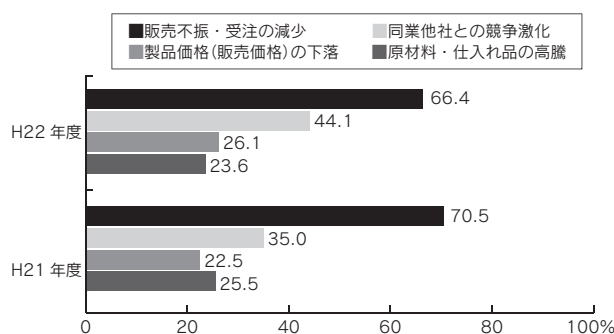


図-2 経営上のあい路

2 労働時間

従業員1人当たりの月平均の残業時間をみると8.87時間で昨年(9.44時間)と比べると0.57時間の減少となっており、残業時間は減少傾向にあることが窺える。

製造業(7.73時間)と非製造業(10.18時間)とでは、非製造業が2.45時間上回っており、業種別では、「運輸業」が22.19時間と最も長くなっている。(図-3)

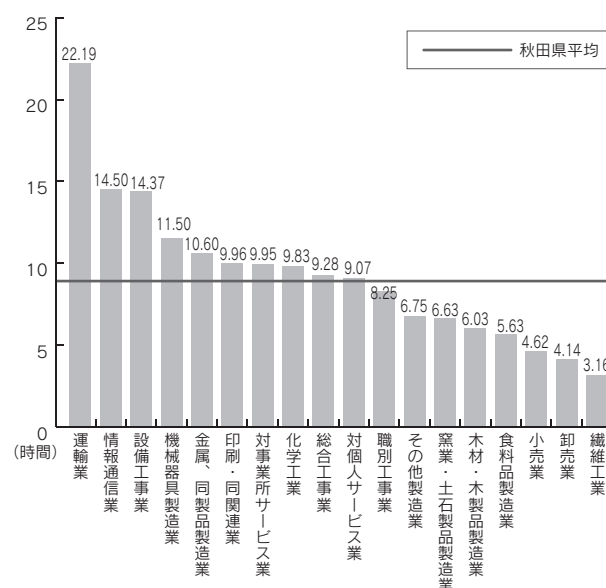


図-3 月平均残業時間

3 年次有給休暇

(1) 年次有給休暇の平均取得日数

従業員1人当たりの平均取得日数は、秋田県は「6.95日」と、昨年の「6.77日」より0.18日増加したものの、全国平均(7.33日)を0.38日下回っている。

製造業(7.62日)と非製造業(6.22日)とでは、製造業の方が1.4日多く、業種別では、「職別工業」が9.25日と最も多くなっている。(図-4)

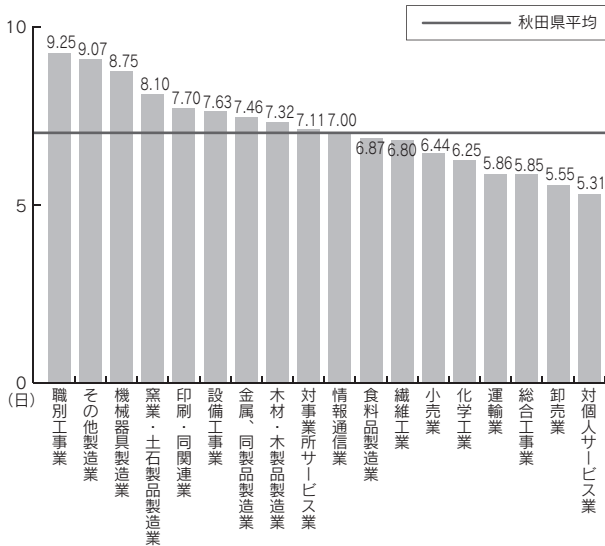


図-4 年次有給休暇の平均取得日数

(2) 年次有給休暇取得促進の取り組み内容

年次有給休暇の取得を促進しようとする取り組みについて3項目以内で選択してもらった結果、「半日・時間単位での付与制度の導入」が50.0%で最も多く、次いで「夏季などに連続休暇取得を推奨」(31.9%)、「計画的な付与の実施」(25.8%)となっており、全国の上位も同じであった。

また、「半日・時間単位での付与制度の導入」の取り組みについては、規模が大きいほど導入している事業所の比率が高く、「1～9人」では28.6%であるのに対し、「100～300人」では88.2%となっている。(図-5)

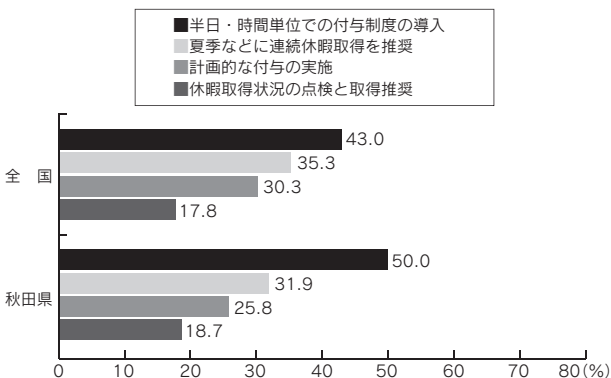


図-5 年次有給休暇取得促進の取り組み内容

4 高齢者の雇用

(1) 65歳までの高齢者雇用確保措置への対応状況

65歳までの高齢者の雇用確保についての措置状況を見ると、「継続雇用制度を導入している」が圧倒的に多く72.0%となっている。また、「該当者がいないので対応していない」が全国では18.7%であるのに対し、本県では12.1%であり、高齢者雇用確保への対応状況は本県の方が進んでいる。(図-6)

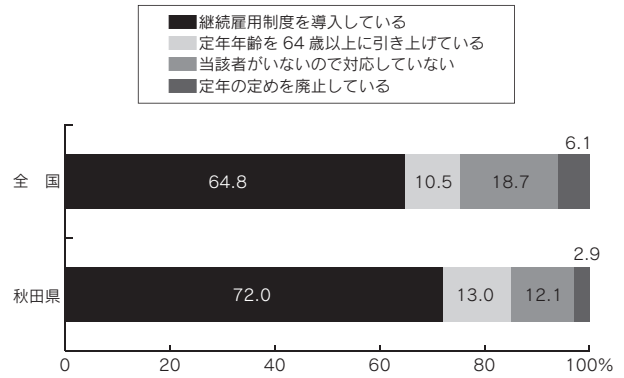


図-6 65歳までの高齢者雇用確保措置への対応状況

(2) 高齢者継続雇用による課題

高齢者を継続雇用する上での課題として多くの事業所があげているのは、「高齢者の健康管理・体力の維持」(49.9%)、「若年者の採用の手控え」(31.1%)、「高齢者の担当する仕事の確保」(24.9%)である。「若年者の採用の手控え」を課題とする事業所は、全国で23.1%、本県で31.1%となっており、本県の方が若年者の採用に与える影響が大きい。

また、従業員規模10人未満の事業所の35%が「特に課題となることはない」と回答している。(図-7)

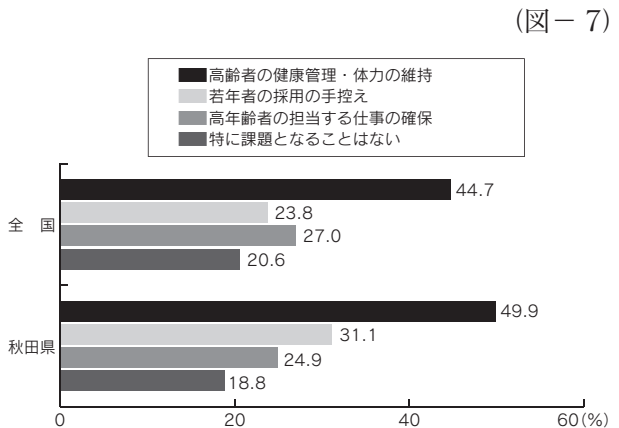


図-7 高齢者継続雇用による課題

5 最低賃金引き上げ

(1) 最低賃金引き上げの影響

最低賃金が時給 800 円以上に引き上げられた場合、経営にどのくらい影響があるかについて、「大きな影響がある」と「多少影響がある」の 2 つを合わせると 53.3% となっており、過半数の事業所に最低賃金引き上げの影響があることが分かる。

なお、「大きな影響がある」比率が高い業種は、「繊維工業」(78.9%)、「食料品製造業」(53.7%)、「化学工業」(50.0%)となっている。(図-8)

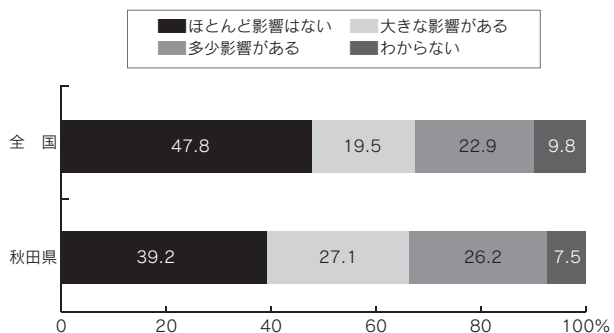


図-8 最低賃金引き上げの影響

(2) 最低賃金引き上げの影響がある場合の必要な対応

最低賃金が引き上げられた場合にどのような対応が必要になるかについて、3 項目以内で選択してもらった結果、「正社員の賃金の引き上げ」「パートタイマーの時給の引き上げ」「アルバイトの時給の引き上げ」が上位となっている。(図-9)

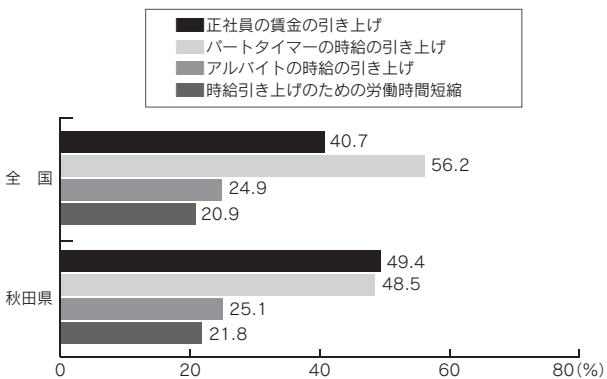


図-9 最低賃金引き上げの影響がある場合の必要な対応

6 平成 22 年 3 月新規学卒者の初任給

平成 22 年 3 月の新卒者の採用状況は、回答した 453 事業所のうち 81 事業所で 139 名を採用している。新規学卒者 1 人当たりの平均初任給額(平成 22 年 6 月支給額)を学歴別にみると、次のとおりである。(表-1)

表-1 新規学卒者の初任給(加重平均)(円)

区分	高校卒		大学卒	
	技術系	事務系	技術系	事務系
全国平均	155,158	150,825	194,684	191,331
秋田県	136,800	136,000	170,673	173,431
製造業	135,029	135,000	171,429	176,338
非製造業	142,674	136,286	170,013	165,680

(注) 加重平均は、各事業所の 1 人当たり平均初任給額に採用した人数を乗じて得た数の総和を採用した人数の総和で除した数値です。

7 平成 23 年 3 月新規学卒者の採用計画

平成 23 年 3 月新規学卒者の採用計画について、「ある」とする事業所が 453 事業所のうち 51 事業所(11.3%)と前年度に比べて 1.3 ポイント増加しているのに対し、「ない」とする事業所は 302 事業所(66.7%)と前年度に比べ 9.2 ポイント減少しており、採用状況はわずかに増加傾向であることが窺える。(図-10)

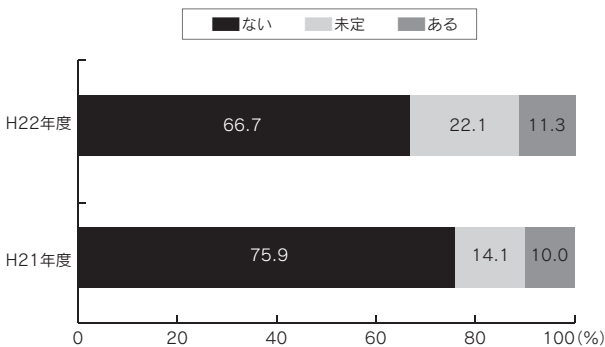


図-10 平成 22 年度採用計画

8 賃金改定状況

秋田県全産業の平均の昇給額をみると、加重平均で 765 円(単純平均: 902 円)と昨年の 338 円に比べて 427 円増加している。

業種別では、製造業が 215 円(加重平均)に対して、非製造業が 2,062 円(同)と製造業と非製造業とでは 1,847 円の差が生じている。

(図-11)

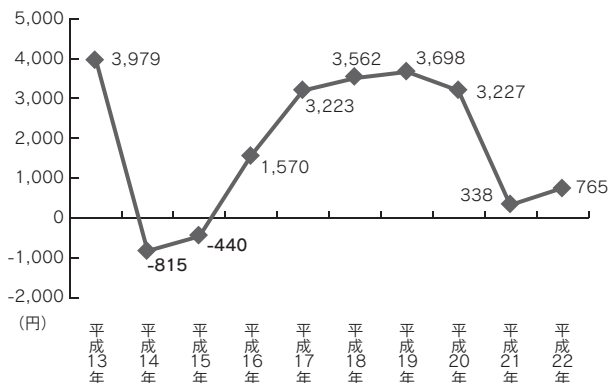


図-11 平均昇給額の推移(加重平均)

景況レポート

(10月分・情報連絡員 80名)

製材関連は操業度が上昇

【概況】10月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%(前月調査12.5%)、「悪化」が40.0%(同41.3%)で、業界全体のDI値は-27.5となり、前月調査と比較し1.3ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-15.6で前月調査(-25.0)に比べ9.4ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-35.4で前月調査(-31.3)に比べ4.1ポイント下回った。

製造業は、売上・収益・販売価格が前月を下回っており、資金繰りが悪化しているものの、製材関連が好調であり、製造業全体の景況に貢献している。旅行も円高ムードで予約が好調。全体では、売上があっても利益が見込めない業界が多く、景況は停滞ムードである。
(回答数:80名 回答率:100%)

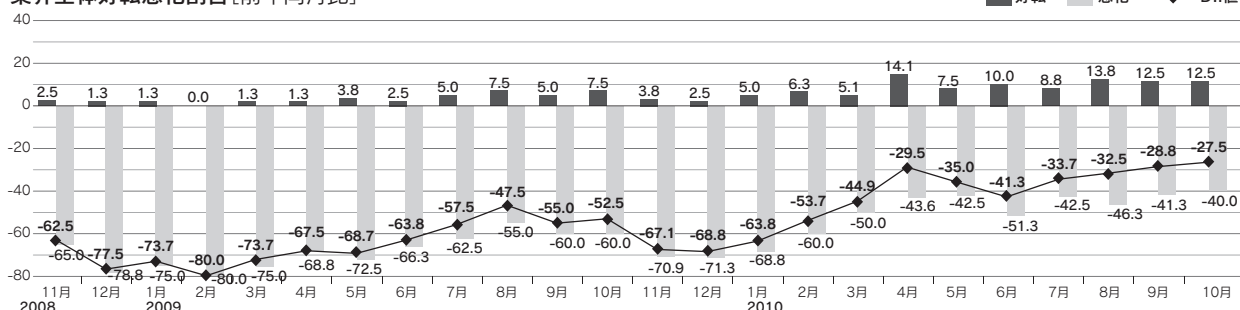
項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

【凡例】

 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

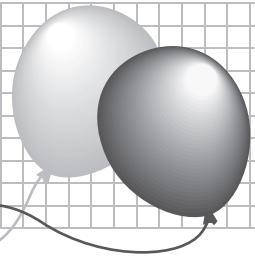
業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

パン製造	来年4月に業界大手の東北進出が決定した。それに対抗し、県外メーカーが安売りを始めたので、販売価格が低下傾向にある。
精穀・製粉業	新米が市場に出回り、組合員からの引き合いも増加してきたが、売上は依然低調に推移している。また、一部商品(切り餅)では、価格下落が止まらない状態になっている。
繊維製品	【県南】受注状況は国内工場の減少とともに増加傾向にあるが、工場として採算の取れる加工コストとは言えない。 【由利本荘市】コート、ジャケット等の重衣料が最盛期に入り、どの工場も納期に追われている。最近、中国生産が遅れているため国内工場に切り替えているメーカーが目立つ。
一般製材	国内は住宅建築の秋需要を迎えており、各工場の操業度は上がっている。反面、原木の出材量は少なく、ジリ高となっている。
外材	円高の追い風に加え、冬場に向けて北洋材の確保を図っている模様である。
プレカット	個人住宅の受注は前年同月比で20%の減少であったが、幼稚園やショートステイ等の大型物件があり、昨年並の受注を確保できた。
自動車販売	10月の新車販売台数は、登録自動車が1,477台(前年同月比66.0%)、軽自動車が1,377台(同78.1%)で、合計2,854台(同71.4%)であった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり129円で前月比3円引き下げ、軽油1ℓ当たり111円で前月比1円引き下げ、配達灯油は18ℓで1,394円と前月比19円の引き下げとなった。県内の一部に市況軟化の傾向が見られる。
電機販売	エコポイントの前倒し策でテレビを中心に買い換え需要が更に加速しているが、12月以降はエコポイントが減額になるため、年末商戦の不安な要素もはらんでいる。
商店街	【秋田市】家電を始め業種によっては売上が上向いているが、全体的には前年同月比でほぼ横這いである。 【大館市】相変わらず景気回復の実感はなく、今月も一店舗閉店した(飲食店)。
旅行	10月は対前年比で国内111%、海外107%、国内は沖縄・関西が多く、海外は韓国・香港が多い。円高の影響が大きい。
管工事	【秋田市】資材の販売は、昨年まで対前年同月比マイナスで推移していたが、今年は、前年同月と同レベルで推移しており、減少傾向に歯止めがかかったように見える。

話題の広場



中央会事業 より

マーケティング調査・試食評価会を実施！

11月13日(土)～14日(日)、首都圏攻略プロデュース事業で採択した2商品「(仮称)焙煎米粉かすてら」と「(仮称)秋田米菓子五穀豊穰」(採択の決定については10月号に掲載)のマーケティング調査を、東京都の「あきた美彩館」で実施しました。

両日とも、会場はたくさんの来館者で賑わい、予定していた調査サンプル数を上回る調査集計を得ることができました。試食した来館者からは、「米粉を使った商品を初めて口にした」、「購入したいが、まだ販売していないのか」という声もあり、商品の食味やサイズを中心に様々な意見が寄せられました。

なお、今回の調査実施により、「あきた美彩館」における集客・売上が通常よりアップする等の相乗効果を得ることもできました。

また、翌日は、同商品の試食評価会を「アルカディア市ヶ谷」で開催し、在京秋田県高等学校同窓会連合会、首都圏秋田県人会連合会、首都圏秋田懇話会の会員による試食評価が行われました。出席者からは、「(米粉らしい)もちもち感をもっと出した方が良い」、「首都圏向けに販売するには、もっと甘さを抑えても良い」という意見や、「秋田らしさをもっと鮮明に出すべき」など、商品コンセプトやパッケージ内容を含めた建設的な意見が多数寄せられました。

さらに、11月27日(土)には秋田市の協同組合秋田市民市場においてもマーケティング調査を実施しました。本会では、各々の調査結果の分析を行い、「首都圏で売れるための商品戦略の立案」に取り組み、商品改良を経て、来年2月中旬には「あきた美彩館」で開催予定の販売促進イベントで新商品として披露する予定です。



試食後のアンケート調査に答える来館者

ポイントカード・サミットを開催！

11月4日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、県内のポイントカード事業を行う組合や任意団体を対象に、「ポイントカード・サミット」を開催しました。

基調講演では、株式会社神田経営研究所の神田邦夫所長から「ポイントカード組合が抱える課題とその対応について」と題した講演が行われました。

神田所長は、「新規客を獲得するには、ポイントが多く付く目玉商品やポイントでしか買えないお買得商品をつくること、また、固定客向けには、誕生日にポイントをサービスすること」などの事例を挙げ、狙いを絞って徹底的に取り組めば大手量販店と差別化が可能であると述べ、効果を上げるために売上の目標数値を設定することなどが提案されました。

講演の後は、「組合の組織力強化とポイント売上高増加のための取り組みについて」と題して、県内外の組合理事長等によるパネルディスカッションを行い、各組合の先進的な事例が紹介されたほか、ポイント売上高増加のための工夫、助成金の活用の仕方などについて、活発な意見交換が行われました。



情報連絡員会議を開催！

11月10日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「平成22年度情報連絡員会議」を開催しました。

会議では、株式会社東京商工リサーチ秋田支店の芳賀一智支店長から「東京商工リサーチに学ぶ～データの読み方・使い方～」と題した講演が行われました。

芳賀支店長は、過去の政策支援の事例や金融円滑化法に基づく措置の実施状況などのデータを基に、県内企業の現状について説明され、「増収増益を続けている会社は、ネット販売で売上を伸ばすなど、県内だけの商売に拘っていない。また、100年以上続いている

会社の特徴は、多角経営はしていないこと、本業を重視し、その中に新しいものを取り入れていることである。人口や企業が減ることなく、本県がもっともっと元気になっていくことを願いたい。」と語りました。

講演終了後は、各業界の景況等について意見交換が行われ、出席した情報連絡員からは、「豆腐の新たな販売先を求めて、病院食や業務食にも目を向けていく」、「繊維は中国での生産コストが上昇してきており、日本に生産が戻ってくると業況も明るくなるのではないかと期待している」、「補助金を活用して商店街のイルミネーション・イベントを実施する」などの報告が寄せられました。



「下請ガイドライン」無料説明会の開催組合を募集中です！

本会では、業種別の「下請ガイドライン」の説明会を無料で開催し、ガイドラインの概要や各業界の特性に応じたベストプラクティス事例（理想的な良い取引関係）について普及啓発をすることにより、下請適正取引の推進を図ります。

つきましては、「下請ガイドライン」説明会の開催を希望する団体を4団体募集しますので、ご希望・ご関心のある事業者及び団体の方は、本会へお問い合わせください。

- 対象者 下請事業者及び親事業者の外注（購買）業務を管理する者等
- 実施期間 平成23年1月末まで
- 説明内容 下請代金支払遅延等防止法、下請中小企業振興法、業種別ガイドライン、ベストプラクティスの概要説明等（所要：約2時間）
- 開催形式 単独での開催をはじめ、団体役員会・研修会などの他行事との抱き合わせ開催も可能
- 開催規模 10名～50名程度
- 開催費 無料
(講師派遣料、会場費、テキスト代)

【申し込み・お問い合わせ先】

本会調査広報課 TEL018-863-8701



国土交通大臣賞を受賞

～能代山本生コンクリート協同組合～

10月26日(火)、東京都の東海大学交友会館において、平成22年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰式が行われ、能代山本生コンクリート協同組合（佐々木鉄美理事長、3組合員）が国土交通大臣賞を受賞しました。

同表彰は、リサイクル活動を通じて顕著な実績を上げている取組を讃えるもので、同組合を始め、県建設交通部建設管理課技術管理室、東北電力(株)能代火力発電所及び東北発電工業(株)能代支社が協力し推進してきた「フライアッシュ混合コンクリートの標準使用化」が高く評価され、4者連名での受賞となりました。

フライアッシュ混合コンクリートは、耐久性に優れ、ひび割れ現象が起りにくいといった長所があり、約3年間にわたる検討や試験施工を経て、今年4月から能代・山本地域での標準使用が開始されました。県内で生産されるフライアッシュの地産地消の流通体系が確立されることで、流通コストの縮減や環境負荷の低減といった総合的な効果が期待されています。

表彰式典には、同組合からは佐々木憲昭副理事長と組合役員2名の方々が出席し、国交省の北村隆志総合政策局長から佐々木副理事長に表彰状が手渡されました。

受賞にあたり、同組合では「関係各位のご協力の結果、名誉ある表彰をいただきました。これからは、全県域にフライアッシュ混合コンクリートが普及するよう期待しています。」と話しています。



佐々木副理事長（右から2人目）と受賞者の皆様

経営革新計画が承認

～企業組合秋田福祉サービス～

企業組合秋田福祉サービス（鎌田憲悦理事長、4組合員）が、11月4日(月)、県より経営革新計画の承認を受けました。

承認を受けた計画のテーマは、「学童保育を併設した認知症多機能型在宅支援施設の開業・運営」で、認知症高齢者の軽度から重度・看取りまでの総合介護サービスを、学童保育を組み合わせた新たな介護環境において提供するものです。

鎌田理事長は、「高齢者も子供も、分けることなく、どちら地域で協力しながら育てるべきと思っている。また、学童保育の併設により、子供達の親とも交流ができ、その力を借りて介護に関して地域が必要としていることに取り組める可能性もある。認知症は、介護の大変さから家族や回りに与える影響が非常に大きく、また、1人暮らしで引きこもりになっている場合もある。そのような高齢者が多くなっていることを地域の人たちにも情報発信していきたい。施設では、認知症のお年寄りと子供達が日常的に接し、バザーの開催などで交流を持つなど、高齢者と子供、そして父兄が自然に触れ合える環境を作りたい。」と話し、「家族が安心して仕事や学校に集中できるよう、秋田が元気になるための下支えをしていきたい。」と抱負を述べられました。

また、今回の申請にあたっては、本会の中小企業応援センター事業で支援を行っており鎌田理事長からは「自



現在の本組合施設「ふきのとう」

分一人では成し得なかった部分も専門家の方々からご協力をいただき計画を練ることができた。」と喜ばれました。

140 会員)では、会員企業の新商品開発、販路拡大及び農商工連携の促進を目的として、盛岡市の株式会社戸田久姫神工場と花巻市の岩手阿部製粉株式会社を視察研修しました。

株式会社戸田久は、昭和 23 年に創業し、当時から南部そばの製造販売等に加え、昭和 56 年には「北緯 40 度もりおか冷麺」を開発し、現在は「盛岡冷麺ブーム」にも後押しされ売上を伸ばしています。当日訪問した姫神工場は、冷麺以外の商品を製造していますが、最新鋭の衛生設備が施されており、レストラン兼直売所「久田屋」が併設されています。

また、岩手阿部製粉株式会社は、昭和 29 年に創業し、当時からの上新粉・牛皮粉の製造に加え、現在は雑穀や野菜等も取扱い、すべて自社で製粉しています。さらに、日本で最初に冷凍和菓子を開発・販売したことで知られており、衛生管理・品質管理には大企業と同等のルールが設けられ、会社内の 5S も徹底されています。

10 名の参加者は、熱心に説明を受け、2 社の衛生管理等、食の安全・安心への取組意識の高さに刺激を受け、今後の企業活動に意欲を高める好機となりました。

また、当日は、いわて食品産業クラスター協議会との懇談会も開催され、同協議会の役員を始め、事務局を努めている岩手県中央会の担当者も出席し、各々の現状や今後の活動方針について意見交換が行われました。



支援団体 活動レポート

先進企業を視察 ～あきた食品振興プラザ～
11月4日(木)、あきた食品振興プラザ(後藤一会長、

事務局訪問！ 組合ティールーム



秋田県葬祭業協同組合

事務局長 小松昭夫さん

—仕事の内容を教えてください。

総会を始めとする各種会議や研修会の開催のほか、各種情報の収集と組合員への提供、経理などの事務全般を1人で行っていきます。

—今、熱中していることは何ですか？

読書です。これまでは歴史物が好きで長編小説をよく読んでいましたが、この度、友人から西村京太郎の十津川警部シリーズの小説を数冊もらいました。面白くて、今は夢中で読んでいます。また、以前は車で行っていた所へも、最近ではできるだけ電車を利用して行くようにして、読書の時間を作り、移動中の車内でゆっくり楽しんでいきます。

—お仕事への心掛けは？

時代の流れにより葬儀の在り方がどんどん変化してきています。組合員各社がその変化を肌で感じて、対応できるように、全国規模で開催されるセミナーや研修会などの情報を集め、適宜提供していきたいと思えます。

—組合のPRをお願いします。

組合では、県の生活センター等の依頼を受け、消費者の方々を対象に葬儀全般についての講演を行っています。当日、組合では、作成したパンフレットを持参して葬儀に関する説明を致しますので、皆様からのご要望をお待ちしております。

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 宮崎真吾
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか？経営の次にあるもの…

設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等
ご相談をお気軽にどうぞ!!

秋田市高陽幸町8-17 TEL 018(883)1888

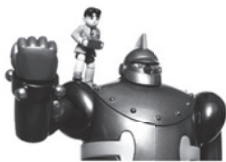
FAX 018(883)1822

E-mail: njl@cna.ne.jp

ホームページ: <http://www.njl.jp/>

秋田県信用保証協会にご相談下さい!

公的保証人として、国・県・市町村のバックアップにより、低利の事業資金が調達出来る保証制度を多数用意しておりますので、お気軽にご相談下さい。



©光プロダクション

- 本所(秋田県商工会館内) TEL 018(863)9011
- 秋田事業部 TEL 018(863)9017
- 大館支所 TEL 0186(49)2281
- 能代支所 TEL 0185(54)2377
- 本荘支所 TEL 0184(22)5330
- 大曲支所 TEL 0187(63)1181
- 横手・湯沢支所 TEL 0182(32)2361

 秋田県信用保証協会

■「中小企業あきた」の年賀広告の募集■

本会機関誌「中小企業あきた」1月号に掲載する年賀広告の募集を行っております。年始のご挨拶に、是非ともご活用ください。

- 1コマ: 29mm(タテ)×84mm(ヨコ) 6,000円
- 2コマ: 60mm(タテ)×84mm(ヨコ) 9,000円
- 3コマ: 91mm(タテ)×84mm(ヨコ) 12,000円
- 4コマ: 60mm(タテ)×170mm(ヨコ) 15,000円
- 6コマ: 91mm(タテ)×170mm(ヨコ) 20,000円

◇申し込み締め切り 12月9日(木)

◇お申し込み・お問い合わせ先

本会調査広報課 (☎ 018-863-8701)

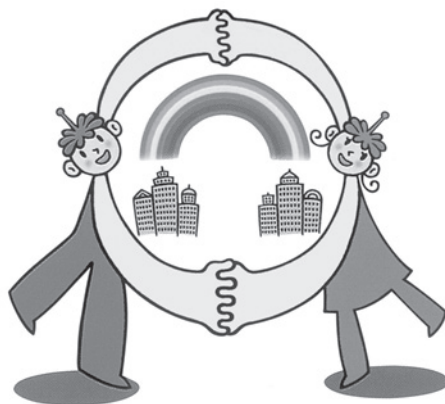
ご存知ですか? “出向と移籍で築く人と企業の安心ネット”を!

「やむなく人員削減を…」 「即戦力の人材確保を…」 と
お考えの企業の皆様へ

経済・産業団体、厚生労働省と連携して、
全国的なネットワークで出向・移籍のあっせんに努めています。

全国ネットの 人材情報

企業間の出向・移籍の
お手伝いを47都道府県の
事務所で行っています。



お問い合わせ・ご相談はこちらまで

出向・移籍の専門機関



財団法人 産業雇用安定センター秋田事務所

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル4F

TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

※ホームページのご案内 <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

ご利用時間

午前9時から午後5時
(土・日・祝日は休業)

**秋田
春夏秋冬こぼれ話**

文◎小西一三
絵◎小西由紀子

カッパンプラン文庫

一冊の待望のファン!!

県内有名書店にて
絶賛発売中!!

秋田春夏秋冬こぼれ話
A5判 本文180頁
定価 **1,800円** (税込)

カッパンプラン文庫

秋田県の全戸配布広報紙「あきた新時代」に、96回にわたって連載されたコラム、「春夏秋冬こぼれ話」。秋田の「風物」「特産」「手仕事」「伝統」などを守り育ててきた地域の人々をいきいきと綴った、小西夫妻の傑作。「毎月楽しみで、いつも一番先に読みます」「暖かい絵と文が大好きで、切り取って保存しています」「ぜひ一冊の本にまとめてください」といった沢山の声にお応えしての待望の書籍化です。

お問い合わせ◎秋田活版印刷株式会社
〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500
E-mail:info@kappan.co.jp

中央会共済制度 オーナーズプランⅣ型

ステイタスM

無配当低解約返戻金型定期保険

- 1** 15年以上の保障準備とその後の資産づくりを両立
 - ・バランスの良いプランニングが魅力です。
- 2** 2段階の低解約返戻金期間の設定で割安な保険料と確かな保障
 - ・割安な保険料で98歳までの長期にわたる保障をご用意いただけます。
- 3** 各種制度を利用して「年金としてのお受け取り」「保障の終身化」が可能
 - ・死亡・高度障害保険金の全部を原資として、年金で受け取ることができます。<ご契約者が法人の場合>
 - ・解約返戻金の全部または一部を原資として、年金で受け取ることができます。<ご契約者が法人でも個人でも>
 - ・保険料のお払い込みを中止し、一生涯保障が続く払済終身保険に変更できます。<ご契約者が法人でも個人でも>

※商品内容の詳細は「ステイタス-M商品パンフレット」「ご契約のしおり-約款」「設計書(契約概要)」(特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)を必ずご覧ください。)

三井生命保険株式会社 〒100-8123 東京都千代田区大手町2-1-1 TEL.03(6831)8000(代表) <http://www.mitsui-seimei.co.jp/> C-21-0312(H22.1)

〔中央会共済制度引受会社〕
三井生命保険株式会社 従業員退職金のご準備に 特定退職金共済制度
 〔中央会共済制度のお問い合わせ先は〕
秋田支社 〒010-0921 秋田市大町1丁目3番8号

秋田営業部	TEL 018(863)1626	大曲営業部	TEL 0187(62)1337	大館営業部	TEL 0186(49)2459
本荘営業部	TEL 0184(23)2950	湯沢営業部	TEL 0183(72)3230	能代営業部	TEL 0185(54)2520